

こんにちは

会社訪問記

安全第一を行動指針に、
リサイクル、適正処理に取り組む。

株式会社マルコー商会

(愛知県豊橋市)

豊橋港に向けて市内を横断、開けた地域に立地する株式会社マルコー商会におじゃまし、事業内容や廃棄物処理に対する姿勢など諸々のお話をさせていただきました。

— まず、事業内容を簡単に教えていただけませんか。

洪本社長（以下洪本に略）
『当社の事業は総合解体工事と産業廃棄物処理の二本柱に分かれています。比率的には解体業の方が約6割と高いのですが、産業廃棄物処理業の方も意欲的に取り組んでいます。』



洪本社長

— 産業廃棄物処理業の許可を取得されたのは何年ですか。

洪本『収集運搬業の許可を取ったのが昭和57年。以後、処分業の許可も取り、中間処理施設と最終処分場の運営も行っています。』

— 中間処理は何を行っているのですか。

洪本『木くずと建設廃材の破碎及び焼却を行っています。破碎施設は、確かこの地区で初めて当社が導入したのではなかったかと思います。焼却炉は平成2年に導入しています。また、医療廃棄物の中間処理施設を来年4月完成を目指して現在取り組んでいる最中です。』

— その他、何をしていますか。

洪本『現場設置用のコンテナを100台所有し、各現場で使用しています。』

— では、貴社のモットーを教えてください。

洪本『常に新しい技術と設備を導入しつつ、リサイクルを推進していく事業を行うことです。そして、自分たちの知恵を出し合い産業廃棄物の減量化に積極的に取り組んでいくことでしょうか。誰も不法投棄をせず、適正処理費をいただける健全



社名/株式会社マルコー商会 所在地/愛知県豊橋市神ノ輪町20-2
代表者/洪本正克 創業/昭和57年 従業員/37名 TEL /0532(48)3718
事業所/本社 営業種別/収集運搬、中間処理(破碎、焼却)、最終処分
取扱物品目/廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

な事業環境づくりをしていきたいですね。』

— リサイクルに対する意見をお聞かせください。
洪本『私たちが取り扱っている産業廃棄物の中には、まだまだリサイクルが可能な物が多数あります。特に建設系についてはこの傾向が強いと思います。行政や排出事業者の方々にご理解をいただき、早い時点でリサイクルしていけるようになってほしいと痛切に思う次第です。』

— 最後に今後の事業展望についてお話ししてください。

洪本『中間処理を行うことにより、産業廃棄物を有価物に転換していけたらと考えています。廃棄物の量が減るなどという後ろ向きの思考を捨てて、チャレンジしていきたい。廃棄物処理費の減少分は有価物の売却益で補填していく、というのが今後の方向ですね。』



社内